

第23回JACR学術集会 開催報告……1p

第23回JACR実務者研修会報告……2p
MCIJデータ、SEERデータを用いた造血器腫瘍罹患率の日米比較……3p
学術奨励賞をいただいていること……4p
JACR委員会報告:広報委員会/教育研修委員会……5p
JACR委員会報告:学術委員会/国際交流委員……6p
JACR委員会報告:安全管理委員会/モノグラフ編集委員会……7p
登録室紹介 大分県/京都府……8-9p
登録室リレー随筆……11p
平成26年度通常総会報告……12p
事務局だより/有料刊行物のお申し込み……14p
NCC地域がん登録室便り/賛助会員募集/関連学会一覧……15p
モモコさんと紫本/賛助会員一覧/編集後記……16p

第23回JACR学術集会 開催報告



中瀬 一則 第23回学術集会会長

三重大学医学部附属病院がんセンター

第23回学術集会を6月12、13日の両日に、「がん登録推進法の成立をうけて」をテーマにして、三重県で開催させて頂きました。天気予報で悪天が予想されましたが、直前に晴天となり、参加された方々の日頃の善行のおかげと感謝致しております。会場に関しても、当初、予定していた三重大学三翠ホールの耐震工事のため、場所の選定に苦慮しましたが、幸い、三重大学のがんセンターと三重県の歯科医師会の間で医科歯科連携の協議を進めていた経緯もあり、歯科医師会の御好意で津市の歯科医師会館を2日間お借りすることができました。津駅から徒歩で数分ですので、電車でお越しの方にも、ご不便はおかけしなかったかと思います。12日の実務者研修会には124名、13日の学術集会には172名の延べ296名の多数の方が参加されました。また、ご来賓には鈴木英敬三重県知事はじめ多数の方にご臨席頂き、ご祝辞を賜ることができました。



知事ご臨席のもと、開会挨拶する筆者

三重県のがん登録への参入は平成23年度からで、他県よりかなり遅れましたが、何とか三重の心意気を感じてもらおうと、がんセンターの福留寿生医師を中心に今までにない企画を入れようとアイデアを凝らしました。初日の実務者研修会では、クイズ形式の参加型研修会を行い、実務者のがん登録のレベルが確認できたかと思います。成績優秀者には、懇親会で三重の特産物の景品をお渡ししました。そのあと、三重大学病理学の白石泰三教授の「がん」の講義を受けて頂き、引き続いて全国を6ブロックに分けて、地域ブロック別研修会



クイズ形式の参加型研修会

ポスター会場の風景



を行い、地域内の実務者同士で直接、顔を合わせて有意義な交流が図れたのではないのでしょうか。2日目は、がん民族疫学の世界的権威である三重大学田島和雄客員教授の「がん登録今昔物語」の講演、片野田耕太氏の学術奨励賞受賞講演のあと、「がん登録推進法で都道府県のがん登録はどう変わる?」をテーマにしたシンポジウムを行い、全国がん登録への取り組み方についてディスカッションをして頂きました。今後のがん登録のがん対策への活用につながる契機になればと願っております。

至らぬ点多かったかと思いますが、参加者の皆様のおかげで、滞りなく学術集会を終了させて頂くことができました。改めて御礼を申し上げたいと思います。また、この学術集会の様子は地元テレビで放映され、各新聞紙上でも記事が掲載されましたので、地域住民の方のがん登録の認知にもつながったと思います。来年度の群馬県での学術集会の盛会をお祈りして、第23回の開催報告とさせていただきます。